

はじめに

『自分メディアのつくり方』を手にとりて戴き、ありがとうございます。
著者のひとり、森英信です。

私の周りには、個人でインターネットのツールを使ってメディアを発行し、成功している人たちがたくさんいます。こうした方々の成功は、インターネットが一般に普及する以前では考えられないことでした。

本書では、個人が「自分メディア」を持つことで、人生が変わるということを書いていきます。

第1章では、インターネットなどの情報技術の発展と、それを使う人の利用能力の向上に伴い、個人が情報を発信できる「自分メディア」の時代が訪れている背景を説明します。

第2章では、「コンテンツ」のつくり方を説明します。あなたの得意なこと、やりたいことなどから、あなたのメディアの目的やビジョンを明らかにし、メディアのコンテンツに落としこんでいきます。

第3章では、情報発信のための様々なツールの特徴を解説します。ここで紹介するツールは、一般的になったブログをはじめ、メールマガジン、ソーシャル・ネットワーキング・サービス、ポッドキャスト、出版物などです。

第4章では、「自分メディア」の成長戦略です。コンテンツを「使い倒す」クロスメディア戦略、出版によるブランドを確立、コミュニティーであなたの仲間やファンを募り発展させる手段、そしてあなたの商品の宣伝・販売手法について紹介します。

第5章では、ビジュアル、目的、文章、使い勝手、ワークフロー、アクセス数など、自分メディアのためのあらゆるデザインについて解説します。

第6章では、自分メディアを発信し、出版を果たし、パーソナルブランドを確立されている5名の成功者の事例を紹介していきます。

第7章では、自分メディアをさらに育てていくための、インターネットツールの利用能力を付ける方法、新しく登場したコンテンツ流通のしくみ、そして自分メディア運営の心得について説明します。

「自分メディア」を持つということは、これまで情報の“受信者”だった人が“発信者”にポジションを変えることになります。

あなたが情報の“発信者”となり、それを求める読者に会い、その読者の期待に応えながら、パーソナルブランドを確立し、仕事や趣味がうまくいく——本書を手にとったあなたにも、その可能性があります。

私は、2005年の夏に会社を設立し、書籍の企画・制作や、ビジネスブログの企画・構築・運営をしています。会社設立前は、出版社やインターネットコンテンツ制作会社でサラリーマンをしていました。

この本をつくるにあたって、私がサラリーマン時代に、先輩が言った

「読者に情報を届けて喜んでもらえるメディアの仕事は非常に尊い」

ということを思い出しました。とても魅力的なメディアの運営を個人でも体験できるような時代になったことは非常に喜ばしい限りです。

本書の企画は、私が独立してまもなく、同じ時期に出版社を立ち上げた、本書のもうひとりの著者である小早川幸一郎さんとお打ち合わせをした際

に生まれました。

私は、当初、預かっている作家さんの出版企画を見もらうために訪問したのですが、2時間ほど話し込んだ結果、2人でこの本をつくることにしました。小早川さんの周りにも、自分メディアを使ってパーソナルブランディングを確立し、成功されている方がたくさんいらっしゃいます。彼らの次に登場する成功者のための本がつかれないかと考えたのです。

小早川さんの会社は、社名の「クロスメディア・パブリッシング」のとおり、出版とインターネットをクロスさせる事業を行っていらっしゃいます。私の会社「アンジー」も同じように、アナログ・デジタル両方のメディア事業を行っていますので、インターネットで自分メディアをつくるといったコンセプトをお互い共有できました。

そして「自分メディアのつくり方」は、この書籍だけでは終わりません。私たちは、Web サイト → <http://www.jibun-media.com> でも、自分メディアに関する新しいノウハウ、メディア事例などの情報を発信してまいります。この本を読んで「自分メディア」をつくった方はぜひお知らせください！ 私たちは応援します。

最後に、本書の取材に快く応じていただいた成功者の方々、素敵なイラストを描いてくれた芦田さん、的確なアドバイスをいただいた karadesign の原さん、いつもお世話になっているクライアントの方々、自分をここまで育てていただいた両親と諸先輩方、そして、休み返上で寂しい思いをさせてしまった妻と2人の子供、みなさんに感謝いたします。

有限会社アンジー 森 英信